

1 文(文章)で解答する設問の答案については、次のA項の加点要素の合計から次のB項・C項の減点要素の合計を引いた得点をその設問の得点とします。ただし最低点は0点としマイナスの得点はつけません。

A 以下の採点基準では、模範解答をいくつかの要素に分割し加点要素とします。答案中にその加点要素に相当する部分があれば、その加点要素に配点された得点を与えます。
b ある加点要素は、その加点要素に配点された得点か0点で採点することを原則とします。たとえば5点配点された加点要素であれば5点か0点で採点することを原則とします。その場合それぞれの採点基準の中に明記されていません。ただし、その加点要素中の部分点を認める場合もあります。その場合それぞれの採点基準の中に明記されていません。

c ある要素に加点するか否かが、他の要素と無関係に決まる場合と、他の要素との関係で決まる場合があります。前者の場合は、その要素を単独採点(独立採点)すると言いその旨必ず明記されています。後者の場合は、他の要素との関係について以下の採点基準で具体的に指示されています。

d 解答通りという条件がある場合はいかなる部分点も認めません。

B a 答案中に大きな誤読と判定される内容(語句)などがある場合は、その内容(語句)を減点要素として示されている場合もあります。
b 加点要素でも減点要素でもない部分もありえます。その部分は加点も減点もしません。

C 次に該当するものは、答案の形式上の不備として、一箇所につき1点の減点要素とします。
a 誤字。漢字などの文字の明らかな誤りは誤字とします。

b 脱字。

c 文末の句点の脱落。

*字数指定のない場合、句点の脱落は誤字とし1点の減点とします。

d その他不適切と判断せざるをえない箇所。

e 不適切な文末処理。設問の問い方に対応していない形で答案の文末を結んでいない場合は、適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備による減点要素とします。

たとえば「:とはどういうことか?」という問いに体言で結んでいないものなどは適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備とします。

また、理由が問われているのに、「から」「ので」などで結んでいないものなども適切な文末処理が行われていないと見て形式上の不備と見ます。

*ただし、「ことである」などの表現も「こと」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。また、「からである。」などの表現も「から」などで結んでいるものと同様適切な文末処理が行われていると見ます。

また文末の表現を問わない場合もありますが、その場合はその都度明記されています。

2 日本語の表現として不適切なものは程度に応じて減点します。

3 次の各項に該当するものは、部分点の要素があっても、その設問の得点を0点とします。

a 答案が解答欄の欄外にはみ出しているもの。

b 一行の解答欄に二行以上書いた場合もその設問の得点を0点とします。

c 字数指定のある設問で、字数をオーバーしたもの。

d 答案の文章が最後まで完結していないもの。

4 古文あるいは漢文の訳を記述する設問の場合も以上に準じますが、文末の句点や文末の処理あるいは答案の完結にこだわらなくともよい場合はその都度明記されています。

第二回 七月 有名大本番レベル記述模試

□ 採点基準 【50点満点】

問一 建設業／介護サービス

[3点×2]

問二 外国人移住者を適切に統合することで

労働人口と税収が確保され、

さらには社会における多様性が増大することで

経済活動の創造性を活性化できるといふ、

マジョリティ国民の視点に立った考え。(88字)

[10点]

A 外国人移住者を適切に統合することで (1点)

▼「適切に」がなくても許容。

B 労働人口と税収が確保され、(2点)

▼Bがなかった場合、あるいは無得点の場合、Aに得点を与えず。

C 社会における多様性が増大することで (2点)

▼「労働人口」「税収」の2点がそろっていない場合は、Bは無得点とする。

D 経済活動の創造性を活性化できる (2点)

▼Dがなかった場合、あるいは無得点の場合、Cに得点を与えず。

E マジョリティ国民の視点に立った考え。(3点)

▼「マジョリティ」は「多数派・多数者」でもかまわない。

問三

a 〓 へ b 〓 〓 〓 c 〓 〓 〓 〓 d 〓 〓 〓 〓 〓 e 〓 〓 〓 〓 〓

[2点×5]

問四

経済的資源としての「優れた人材」を誘致するために、移住者の多様性を権利として承認し、公正に扱うようにすること。(55字)

[8点]

A 経済的資源としての(1点)

▼Aがなかった場合、Bに得点を与えず。

B 「優れた人材」を誘致するために(2点)

▼Bがなかった場合、あるいは無得点の場合、Aに得点を与えず。

C 移住者の多様性を(1点)

▼「移住者」がなかった場合、Cに得点を与えず。

D 権利として承認し(2点)

▼「移住者」「多様性」ともなかった場合、Dに得点を与えず。

E 公正に扱うようにする(2点)

▼Dがなかった場合、あるいは無得点の場合、Cに得点を与えず。

問五 国益

[4点]

問六

外国人住民の意見を施策に反映させる代表者会議(22字)

[4点]

問七

ハ・ホ

[4点×2]

二 (評論) 採点基準 (合計 50 点)

問一 各2点 (計8点)

- 1 劣化
- 2 概略
- 3 滋味
- 4 曖昧

※解答通り

問二 6点 (模範解答例)

A ○3点

工学の分野での成果を、

B ○3点

「役に立つ」のかそうではないのかという基準で評価すること。

(40字)

※A・Bに関して部分採点

A 「工学の分野での成果を」(3点)

※傍線部を含む文からの「そこ」の指示内容の指摘。

○ 「成果」について触れず、「工学の分野において」も可。

× 単に「科学の成果を」は、科学全般を指すことになるので×0点。

B 「役に立つ」のかそうではないのかという基準で評価する(2)(3点)

※傍線部の直前の一文からの「そこ」の指示内容の指摘。

○ 「直接的有用性を求め、短期的経済効果を要求すること」も可。

× 「直接的有用性を求め、短期的経済効果を要求するだけで事足りりとする事」は、「工学の分野は有用性と経済的効果を求めるだけで充分である」の意味になり、そういったことは傍線部の前には示されていないので×0点。

問三 9点 (模範解答例)

A ○3点

自己の専門領域での判断に止まらない、

B ○3点

その人が日常的な生活の中で知性的に感じている、

C ○3点

合理性だけでは捉えきれない文化的判断。

(60字)

※A・B・Cに関して部分採点

A 「自己の専門領域での判断」に止まらない」(3点)

※第11段落の一節を用いての「専門領域に止まらない判断」の説明。

× 「私的価値判断」は、傍線部の「自分」を単純に言い換えているだけであるので×0点。

B 「その人が日常的な生活の中で知性的に感じている」(3点)

※第24段落の一節を用いての「日常的に感じている」ことをもとにした判断であることの説明。

○ 「実存的位相に関わる自らの生を意識し、それを多少とも反映させた判断」も可。

○ 「日常生活で感じている文化的判断」も可。ただし、このタイプはCの観点の加点をしない。BとCは、B「日常の中での感覚」であり、C「それ故に」合理性だけではない文化的判断」と分けて考える。このパターンはBとCが明確に区別できていないと考える。

C 「合理性だけでは捉えきれない文化的判断」(3点)

※第24段落の一節を用いての、Bの観点と関連する「合理、非合理で割り切れない判断」の説明。

× 「日常的で合理的か否か判断できない、知性的な文化的判断」は、BとCを合わせたようなBの二つ目のパターンに見えるが、「判断できない判断」の意味するところが不明瞭であるので×0点。

問四 5点

確実に客観的な予測や制御

※解答通り

問五 12点 (模範解答例)

A ○3点

他の領域の人々への配慮を後回しにし、

B ○3点

自己の帰属する集団にだけ特権があると考え、

C ○3点

政治的権力とつながりながら、

D ○3点

絶対的な悪や潜在的な危険性を持つ研究を進めるようなことをしているから。

(88字)

※A・B・C・Dに関して部分採点

A 「他の領域の人々への配慮を後回しにし」(3点)

※傍線部直前の「それ」の内容(他への配慮が二次的であること)の指摘。

B 「自己の帰属する集団にだけ特権があると考え」(3点)

※傍線部直前の「それ」の内容(自分に特権があること)の指摘。

C 「政治的権力とつながりながら」(3点)

※第22段落の「尚更そういえる」から導き出される内容(政治的権力との結びつき)の指摘。

D 「絶対的な悪や潜在的な危険性を持つ研究を進めるようなことをしているから」(3点)

※第22段落の「尚更そういえる」から導き出される内容(悪や危険性の研究)の指摘。

△「絶対的悪の研究を進めているから」は、「潜在的な危険性」について触れていないので▲1点減点で△2点。

△「潜在的な危険性を持つ研究を進めているから」は、「絶対的な悪」について触れていないので▲1点減点で△2点。

△「紛う方無い悪や潜在的危険性を孕む研究群と一体化しているから」は、特に「紛う方無い」が本文のままで自分の表現になっていないので▲1点減点で△2点。

問六 各5点(計10点)

ハ・ホ

※解答通り(順不同)

三 (古文)

問一 ① せんざい (せんざい)

② かたびら

③ かななづき (かななづき)

④ おとど

(各1点×4)

↓解答通りでなくては×。()でも可。その他のものは零点。

問二 (5点)

問二・模範解答例

a (1点)

百の燈明を一斉に灯させようとしたのに、

b (1点)

点灯を任された者が要領を得ず、

c (2点)

ばらばらに灯してしまったから。(四十九字) (5点)

d (1点)

【各部の採点】5点満点。加点ポイント4箇所。

a 「百の燈明を一斉に灯させようとしたのに」…1点。灯明を一度に灯すという趣向。

b 「点灯を任された者が要領を得ず」…1点

点灯をまかした者に対する院の批判の内容。「まかされた人間が趣旨を理解して
いなく」でも可。「まかされた者が」だけでは加点しない。

c 「ばらばらに灯してしまった」…2点。

「灯明を一度に灯すことができなかった」「点
灯がうまくいかなかった」は1点。ある場所
は灯してあり、ある場所は灯してなかったと
いうニュアンス。

d 「〜から」…1点。「〜ので」「〜ため」などの原因理由の文末表現。

「〜」だけでは零点。

問三 (4点) 3

問三・B・模範解答例

a (2点) b (2点)

B 仰々しくお造りになった。(4点)

【各部の採点】4点満点。加点ポイント2箇所。

a 「仰々しく」……………2点。「大げさに・派手に」でも良し。

b 「お造りになった」…2点。「造る」の意味+尊敬の意味+完了の意味。「造らせなさ

った」のような使役の意のものはマイナス1点。

「しなされた」のような「造る」のニュアンスの欠けてい

るものに対してもマイナス1点。「お造りになる」のよう

な完了の意のないものもマイナス1点。二箇所以上間違

ったものは零点。

問三・E・模範解答例

a (2点)

b (2点)

C 歌の出来の良し悪しは言うまでもないことであって。(4点)

【各部の採点】4点満点。加点ポイント2箇所。

a 「歌の出来の良し悪しは」……………2点。「歌の出来栄え・歌の程度は」なども可。

b 「言うまでもないことであって」…2点。「言うまでもなく」すばらしいものであ

って「も可。プラスイメージ。

問四 X || ホ Y || イ Z || ハ (3点 x 3)

↓解答通りでなくてはx。

問五 1 ず 2 ぬ 3 さり 4 ね (2点 x 4)

問六 二 (7点)

問七 (7点)

問七・模範解答例

a (3点)

b (3点)

c (1点)

派手な趣向を好み、弓や和歌や漢詩にも通じた人物。(二十四字) (7点)

【各部の採点】7点満点。加点ポイント3箇所。

a 「派手な趣向を好み」…3点。「大げさな趣向を好み」でもよい。「風流を好み」だ

では零点。

け

b 「弓や和歌や漢詩にも通じた」…3点。

「弓」「和歌」「漢詩」の3つに熱心であった
と言及していること。「弓」が「武芸」にな
っているものはマイナス1点。「漢詩」が「漢
文」になっているものはマイナス1点。「和
歌」は「歌」でも良し。

c 「〜人物」…1点。文末表現。ここだけでは零点。

問八 口・二 (順不同) (1点×2)

四 (漢文) 採点基準 (合計 50 点)

問一 【解答通り】各2点 2 × 4 = 8点

解答

a 〓 ある (いは) b 〓 みずか (ら) c 〓 よ (りて)
d 〓 こ (と) (と) (く)

採点基準 ・ b 「みづか (ら)」は × 【現代仮名遣いで】。

問二 各2点 順不同 合計4点

解答

ロ・ニ

問三 8点

模範解答

a 1点 b 1点 c 2点
何年もの間 祭りの時に、大蛇の求めに応じて、
d 2点 e 2点
童女をすでに九人も いけにえとして捧げた。

採点基準 d・「すでに」「九人」各1点。
e・「犠牲となった」も可。

問四 7点

a 2点 b 1点 c 2点

d 2点

模範解答

父母が、寄が 生けにえの募集に応じて行くことを 許さなかった。

採点基準

- a・「李証夫婦」「両親」「親たち」も可。
- c・ただ「いけにえになる」は1点。
- d・「聞き入れない」「認めない」なども可。

問五 8点

a 1点

b 2点

模範解答

|| 今までに犠牲となった 九人の童女たちが、

c 2点

d 3点

臆病のために むぎむぎ大蛇に食べられてしまった こと。

採点基準

- a・「今までに」はなくとも可。
- ・「食べられた」「殺された」「生けにえの」も可。
- b・「九人の」「童女たち」各1点。
- ・「9人」は「九人」に訂正し、減点はしない。
- d・「むぎむぎ」は「為すべなく」「むだに」も可。
- ・「むぎむぎ」の要素がないと1点減点。
- ・「殺された」「死んだ」なども可。

問六 5点 +4点

模範答案

(一) 為ニ 蛇 所レ 食

採点基準

- ・ 完答 (部分点なし)
- ・ 送り仮名をつけているもの↓あっていたら減点2
↓誤りや不備は0点
- ・ 返り点が漢字の右にあるもの…0点

a b c

模範解答

(三) 大蛇に 食べられて しまった (しまったことは)

採点基準

- ・ 主体は補いは不問。
- a・「大蛇」は「蛇」も可。
- b・「れる・られる」の受身で訳している。
- c・時制は過去または完了でなくとも可。

問七 6点

模範解答

|| その後、 東治には 二度と

d 2点 c

大蛇のような魔物は 現れなかった。

採点基準

- a・「寄が大蛇を退治してから」など可。
- b・「福建省には」は不可。
- ・「治」の次のニスイに注意してください。誤字減点。
- c・「二度とく現れなかった」で2点。
- ・「二度と」「再び」がないもの1点。
- d・「大蛇は」または、「魔物」「怪物」だけは1点。
- ・「妖邪」のままは不可。